

## 岡山市市民協働推進ニーズ調査事業 事業計画書

※各項目はできるだけ簡潔かつ具体的に記載してください。

※枠の幅は自由に変更してください。なお、全体で A4 サイズ 4 ページ以内に収まるように作成してください。

実施主体	団体名	西川エリアまち育て協議体
	担当者氏名	代表 池田 一晃
	連絡先	住所 〒700-0901 岡山市北区本町 9 番 13 号 電話 086-223-3241 Eメール
	合同提案団体 (あれば)	
岡山市の協働 課等	課名等 担当者氏名 (連絡先)	課名等 庭園都市推進課 担当者 竹下 麻紀、服部 立弥 ( 803-1393 )
調査事業	名称	西川エリア内実態調査 ～夜間(17時-21時間)における通行量およびニーズ調査～
	調査の動機 または仮説 (なぜ)	夜営業の飲食業が 600 店以上出店している西川エリアだが、今までに夜間の通行量調査は行われておらず、今後さらに増えるであろう事業者(飲食店や宿泊施設)、観光客、生活者の間で問題となっている騒音や呼び込み、おもてなし環境などへの対応が遅れている現状がある。  実際に夜間(17時~21時)にどれだけの人がどのような流れで西川エリアを回遊しているのかのデータ調査を行い、また、既存のイベント開催時には来街者へインタビューなどを行い、西川エリアの現状の数値化、ニーズや問題を拾い上げる必要がある  様々な問題を解決する方法を検討し、飲食店側が自分たちでルール作りを行うためにも、データから西川エリアの現状をきちんと理解することが求められている為。
	調査の対象 (なにを) 調査の数量 (どれだけ)	西川エリアにて 1) 平日 17 時～21 時までの通行量(人が対象) (6 月、11 月の 2 回予定、目標 4～5 箇所にて 2 名ずつ配置) 2) 来街者への街頭インタビュー (7 月、10 月の 2 回予定、合計目標 500 サンプル)
	調査の方法 (どのように)	・西川エリア内の飲食店が特に密集する 4～5 箇所にて通行量調査

調査事業		<p>平日の 17 時～21 時までの調査を行う。 調査曜日は、金曜もしくは水曜を検討。</p> <p>・西川エリアに訪れる来街者へのインタビュー 西川エリアのイメージ、西川緑道公園等の認知度、西川エリアに求めるもの、などのアンケート項目を作成し実施。 既存のイベントと絡めることで、多くのサンプル回答を収集。 生活者、観光客(海外含む)、イベント実施者、イベント参加者を対象とする。</p>															
	調査の工程 (いつ・だれが)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>工程</th> <th>担当</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6</td> <td>夜間通行量調査①</td> <td>西川エリアまち育て協議体</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>来街者へのアンケート&lt;01&gt; ※既存のイベントと絡めて</td> <td>西川エリアまち育て協議体</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>来街者へのアンケート&lt;02&gt; ※既存のイベントと絡めて</td> <td>西川エリアまち育て協議体</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>夜間通行量調査②</td> <td>西川エリアまち育て協議体と委託会社</td> </tr> </tbody> </table>	月	工程	担当	6	夜間通行量調査①	西川エリアまち育て協議体	7	来街者へのアンケート<01> ※既存のイベントと絡めて	西川エリアまち育て協議体	10	来街者へのアンケート<02> ※既存のイベントと絡めて	西川エリアまち育て協議体	11	夜間通行量調査②	西川エリアまち育て協議体と委託会社
	月	工程	担当														
6	夜間通行量調査①	西川エリアまち育て協議体															
7	来街者へのアンケート<01> ※既存のイベントと絡めて	西川エリアまち育て協議体															
10	来街者へのアンケート<02> ※既存のイベントと絡めて	西川エリアまち育て協議体															
11	夜間通行量調査②	西川エリアまち育て協議体と委託会社															
結果の活用方法 (どうする)	西川緑道公園のパークマネジメントを含めた西川エリア全域を包括的に所管するエリアマネジメントを行う指標として活用。																
調査後の展望 (モデル事業への提案を想定している場合は事業の内容など)	岡山中心市街地での西川エリアの役割を明確化し、「住人」の愛着度の向上、「観光客・ビジネスマン」の誘致につなげるエリアブランドイメージ醸成のための活動資料として活用。																
岡山市及び ESD・市民協働推進センターに支援してほしいこと (あれば)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昼間の通行量およびニーズ調査データの提供</li> <li>・来街者アンケート時のサポート的支援 (安心安全調査の為の告知など)</li> <li>・社会課題解決のための道路や公園の活用、景観条例などの作成計画や見直し計画への参画 (必要が出てくれば)</li> </ul>																

## 岡山市市民協働推進ニーズ調査事業 収支予算書

単位(円)

提案事業名	西川エリア内実態調査～夜間(17時-21時間)における通行量およびニーズ調査～
-------	---

### (収入)

	費目等	金額
自己資金等	実施主体	人件費(寄付) 125,000円
	合同提案団体	0円
	合計(a)	125,000円
事業収入	事業収入	0円
	合計(b)	0円
岡山市補助金申請額(c)		500,000円
収入合計(d) = (a)+(b)+(c)		625,000円

### (支出)

	費目	金額	内訳
経費	・人件費(通行量調査)	80,000円	8名×5,000円(4h調査)/名×2回 8名×5,000円(4h調査)/名×2回
	・人件費(街頭アンケート)	80,000円	時給1,500円/名×8h/日×10日
	・人件費(解析作業およびレポート作成費)	120,000円	交通量の多いところのみ委託
	・調査委託費(通行量調査)	150,000円	モバイルWiFiルーター(4台/日)×2日、タブレット(4台/6ヶ月)
	・機材レンタル費	70,000円	1サンプル200円×2日間
	・街頭アンケートシステム利用料	100,000円	
	・消耗品費	15,000円	
	・通信運搬費	10,000円	
総事業費		625,000円	※収入合計(d)と同額

※人件費等を積算する場合は、根拠(賃金規定や過去の支払い状況を示すもの)を添付してください。

※報告書の販売等による事業収入を見込んでいる場合は「事業収入」欄に単価、部数、収入額(いずれも見込)を記入してください。